

流行ニュース :

< 大腸菌 0-157 カナダ >

大腸菌 0-157 がオンタリオ州のウォ-ルカ-トン(人口 5000 人)で集団発生。今日までに 5 名が死亡、27 人が入院した。大腸菌 0-157 の感染は 5 月 12 日から 15 日の間に起こったと考えられる。給水システムから大腸菌 0-157 が検出された。州および連邦の健康環境局が調査中。

今週の話題 :

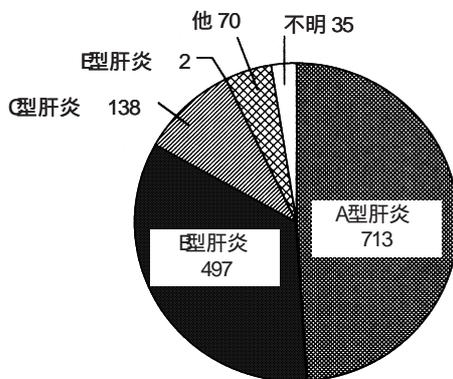
< 1999 年度の狂犬病発症の世界的疫学調査 WHO 質問票 >

WHO は 1999 年度の狂犬病に関するデータを収集している。RABNET メンバ-は <http://www.rabnet.who.int/> にて最新の情報を手に入れ、RABNET メンバ-以外は <http://www.who.int/emc/diseases/zoo/rabies.html> から WHO 質問票をダウンロードして記入の上、下記住所(WER 参照)に 2000 年 6 月 15 日までに返送すること。

< 日本における急性ウイルス性肝炎 > 1999 年 4 月-12 月

1999 年 4 月に制定された法律により、日本では急性ウイルス性肝炎が届け出義務のある伝染病となった。急性ウイルス性肝炎の新規発症を追跡するために、医師は急性ウイルス性肝炎と診断した場合、1 週間以内に最寄りに保健所に届け出なければならない。慢性肝炎、無症候性のウイルスキャリア、B 型肝炎あるいは C 型肝炎の急性増悪の場合には届け出る義務はない。届け出数は 1455 例であった。

図 1: 日本における急性ウイルス性肝炎
(1999 年 4 月-12 月)



症例数は 2000 年 2 月 10 日までの報告に基づいている。

急性ウイルス性肝炎の全発症数 1455 件。

A型肝炎 713 件 (49%)、B型肝炎 497 件 (34%)

C型肝炎 138 件 (9%)、E型肝炎 2 件、

その他の肝炎 70 件 (5%)、分類不能 35 件 (2%)

* A 型肝炎 : A 型肝炎はピコルナウイルス科の A 型肝炎ウイルス (HAV) によって引き起こされる。患者の便を介して経口感染するが、慢性化は報告されていない。小児の場合しばしば不顕性に経過するが、成人の場合には症状が発現しやすく、時に重症化する。新法以前には、年間最小 353 件から最大 1881 件の発症が報告されていたが、1990 年を境に減少傾向にある。1999 年 4 月から 12 月の間に報告された 713 件の内訳は、男性 456 件 (64%)、女性 257 件 (36%)。男性患者の大部分は 20-39 才であり、女性は 30-49 才。40 件 (6%) は海外での感染が疑われ、日本国内での感染は 625 件 (88%)。48 件 (7%) は感染場所が特定できなかった。海外での感染の場合、中国、インド、他のアジアの国々が多く、国内感染は、人口 10 万人あたりの感染者数で見ると、徳島、山梨、東京の順に多い。徳島では 1999 年 11 月-12 月に A 型肝炎が集団発生。感染経路としてカキの生食が考えられたが、感染経路を特定できなかった。他の感染経路として男性患者 15 人の同性愛行為を介した感染が報告された。

日本では上下水道の整備により A 型肝炎の発症は減少しているが、その結果 50 歳以下の抗 A 型肝炎ウイルス抗体陰性者の比率が増加している。A 型肝炎ウイルスは長い潜伏期間のあと糞便中に排出されるが、酸や洗剤、熱などに対して抵抗性を示す。このウイルスは一度家庭や福祉施設あるいは男性同性愛患者のグループなどに入ると感染が拡がり易い。食品取扱者から消費者へ何週間にもわたり感染が続いていたという報告もある。PCR 法により糞便だけでなく血清中からも A 型肝炎ウイルスの DNA を検出できる。また、ウイルス DNA の塩基配列を比較することにより感染源を特定できる。A 型肝炎ワクチン服用による A 型肝炎の発症予防が行われている。最近 WHO は A 型肝炎ワクチンのガイドラインを発行した。

* B 型肝炎 : B 型肝炎ウイルスはヘパドナウイルス科に属し、血液や性交渉を介して伝播する。感染により一時的に症状が出現した後も、体内からウイルスを駆除することにより回復する。HBe 抗原陽性の母親から生まれた子供は無症候性キャリアとなりやすい。無症候性キャリアは成人後肝硬変や肝細胞癌を引き起こす危険性がある。そこで 1985 年から日本において B 型肝炎の母子垂直感染の予防プロジェクトが開始された。これは 1995 年までは HBe 抗原陽性の母親から生まれた新生児に、そしてそれ以後は HBs 抗原陽性の母親から生まれた新生児に、抗 HBs 抗体と B 型肝炎ウイルスワクチンを投与するというものである。その結果、B 型肝炎ウイルスの母子垂直感染による新生児の無症候性キャリア化は大幅に減少した。

報告された 497 件の内訳は、男性 325 件 (65%)、女性 172 件 (35%)。男女とも 20 歳代の発症が最も多かった。B 型肝炎ウイルスの感染経路として性交渉が 213 件 (43%) であることを考えれば、B 型肝炎を性的感染症 (STD) と考え、予防教育の重要性が再認識しなければならない。免疫機構が正常であれば、慢性化する症例はほとんどなかったが、1~2%は劇症化した。

* C 型肝炎 : C 型肝炎ウイルスに対する抗体検出が可能となり、これまで非 A 非 B 型肝炎と呼ばれていたものが、実は C 型肝炎であることが明らかとなった。フラビウイルス科に分類される C 型肝炎ウイルスの感染経路ははっきりしないが、血液や体液を介して伝播すると考えられている。1999 年 4 月から 12 月の間に報告された C 型肝炎 138 件の内訳は、男性 72 件 (52%)、女性 66 件 (48%) で、高齢での発症が多かった。新法は急性ウイルス性肝炎の初発例を報告することを目的としていたが、慢性肝炎や無症候性キャリア急性増悪も誤って報告されている可能性は否定できない。

輸血による B 型肝炎ウイルスの感染事故と同様に、C 型肝炎患者は、供血者に対するウイルス検査により減少している。しかし、5 例の針刺し事故が報告されている。

* その他の肝炎 : D 型肝炎は同時に感染することにより、B 型肝炎の症状を劇症化させる。E 型肝炎は時に水系感染を引き起こす。1999 年 4 月から 12 月の間に D 型肝炎の発症の報告はなかった。E 型肝炎は中国で感染したと考えられる 2 件が報告されている。その他のウイルスによる肝炎が 70 件報告され、41 件は EB ウイルス、14 件はサイトメガロウイルスの感染と考えられた。

流行ニュースの続報 : <インフルエンザ>

アルゼンチン¹、オーストラリア²、ブラジル³から 2000 年 5 月 27 日付けの報告、メキシコ、南アフリカ⁴からは 2000 年 5 月 20 日付けの報告が行われた。参照 : ¹No.22,2000,p.188, ²No.19,2000,p.160, ³No.20,2000,p.172, ⁴No.18,2000,p.152

(中井久純、佐浦隆一、石川雄一)